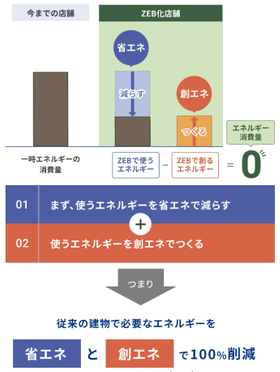
SDGs新聞	株式会社イチケン
地球温暖化の救世主になる技術って!?	

SDGsラジオを読んでみよう！

建物が二酸化炭素をいっぱい出してる!?そう聞くと、ちょっとびっくりしますよね。
実は、日本で出る二酸化炭素の約3分の1は、おうちやスーパー、ショッピングセンターなど
私たちの身近な建物から発生しているんです。
そこで、「商業施設建築のスペシャリスト。建設会社のイチケン」が取り組んでいる技術が、
ネット・ゼロ・エネルギー・ビル「ZEB（ゼブ）」。
これは、建物で使うエネルギーをできるだけ減らし、太陽の光などでつくった電気を使うことをめざしている技術なのです。
とあるショッピングセンターでは、太陽の光に合わせて、自動で明るさを調節するライトや、
太陽の光で電気をつくるソーラーパネルを設置したりしています。
建物で使うエネルギーは、その建物でつくるというチャレンジをしているんですよ。
みなさんの街にも、環境にやさしい「ZEB（ゼブ）」の建物があるかもしれませんよ。探してみてくださいね。

SDGsラジオの内容を、もっと詳しく知ろう！



画像参照：「ZEB」の仕組み
（イチケン公式HPより）

画像参照：「ZEB」の技術を取り入れた
神奈川県横浜市の商業施設「ビエラ蒔田」
（イチケン公式HPより）

スーパーマーケットやコンビニ、大きなショッピングモールなどのお店は、私たちの暮らしを便利に快適にしてくれます。しかし、これらの建物から出る二酸化炭素の量はとても多く、地球温暖化の原因になっています。そこで商業施設をはじめ、さまざまな建物をつくっている「建設会社のイチケン」では、二酸化炭素の量を減らすために「ZEB（ゼブ）」という環境に優しい技術を使っています。「ZEB」とは、「Net Zero Energy Building（ネット・ゼロ・エネルギー・ビル）」の略で、今、日本のみんなでこの技術を広めようとしています。

「ZEB」には「省エネルギー（省エネ）」と「創エネルギー（創エネ）」の２つの技術が必要です。まず「省エネ」とは、できるだけエネルギーを使わないようにすることです。例えば、建物の壁に特別な材料を使うことで、外の暑さや寒さの影響を少なくします。そうすることで、冷房や暖房を使う機会が減ります。また、使う電気の量を自動で調整する「高効率空調」というエアコンや「高効率照明」というライトを使うことで、建物そのものを省エネにできます。続いて、「創エネ」とは、自分たちでエネルギーをつくることです。例えば、ソーラーパネルを使って太陽の光から電気をつくります。このように、「省エネ」で使うエネルギーを減らし、「創エネ」で電気をつくることで、建物が使うエネルギーを建物でつくることをめざしています。地球を守るためにも、この「ZEB」の建物が今、とても注目されています。

キーワード

地球温暖化

地球の空気には二酸化炭素などの温室効果ガスがあります。これらのガスが増えると、地球がどんどんあたたかくなってしまいます。
この現象を「地球温暖化」と言います。

高効率空調

小さな力で、しっかり冷やしたり、あたためたりできるエアコンのことです。これにより、電気をむだに使わず、電気料金も安くなります。

高効率照明

小さな力で、明るく光る照明のことです。たとえば、LED電球は、小さな力で、蛍光灯と同じくらいの明るさで光ります。

対象ゴール

みなさんにできること！	
「ZEB」の仕組みについて理解したうえで、周りの人たちにも教えてあげましょう。	
おさらい	● イチケンでは、「ZEB」という環境に優しい技術を使った建物をつくっている。 ● 「ZEB」とは、「省エネ」と「創エネ」で、エネルギーの使用量をゼロにすることをめざす環境にやさしい技術。 ● 地球温暖化の対策として、「ZEB」をさまざまな建物に使うことが大切。

メモ

SDGsラジオ